

独標(西穂)[編集する](#)

2010 年 04 月 17 日 03:21 友人の友人まで公開

6 view



今シーズンは、アイゼンも履かずに終わるであろうと思っていた頃、紅茶んに声をかけていただき、行ってきました北アルプス～!!👍

今回は、紅茶んの mixi つながりの人たちが、さらに仲間を呼んでと、総勢 8 名の山行。みなさんとても和やかで、しかも本当に山が好きなんだな、というのが伝わってくる人たち。皆さま、たいへんお世話になりました!!👍

【4 月 10 日(土)】

さて、現地に着いたときから、文句なしの青空!!👍 しかもほぼ無風で、暑いくらい。(→この日下界は 22 度まで上がったそうで、山の上も暖かった～。)

西穂山荘までは順調に登り、ここから目指すは独標!!



まっしぐらに、登るぞー!👍

がしかし、

いちばんビビったのは、独標まで、あと数メートルという所の岩場。ここからは各自「自己責任」という名の下、ほぼ勢いで登ってきました🙌（一緒に行けなかった皆さま、ごめんなさい m(_ _)m)

そして、ここに立ったからこそ見ることもできたのが、



西穂～奥穂



奥穂～前穂

もう満腹です😓

さて、この独標まで登るのは簡単だったが、はたしてここを下りれるのか!?

実際、他の登山客がほんの数メートルの岩場を下るのに、相当手間取っていて、なかなか自分の下りる番にならず、不安がよぎる…。

しかし、それを見かねた通りすがりの登山ガイドさんから、「ロープを張ってやろうか!?'という天の声があり、



結局、ロープずたいに下りれたのでありました。(→それでも、ちとビビった。)

無事に下りてこれたらかよかったものの、反省は、やっぱりピッケルワークだろうか!?(→実は、持っているのに使いこなせない分、邪魔だった。。。むしろ岩場に両手で張り付きたいくらいだったし😓)

猫に小判、豚に真珠。

せっかく Kay 様からお借りしたピッケルも、宝の持ち腐れ…💧💧

というわけで(!?), 西穂山荘に下山後、紅茶さんが小屋の前で、滑落停止の指導をしてくれたのでありました💖💖

要は、「滑落した!!」と悟った瞬間に、身体をひるがえして、足首を上げて、ピッケルをぐいっと持ち替えて、それを雪の中に沈めて、止まる…

はずなのに…、

止まらな——い💣

以前、本当に滑落したことも思いだし、

(⇒当時は、4月の那須で、あの時は枝にぶつかりながら、落ちるところまで落ちて、止まった…(=落ち葉の上でよかった)。)

やっぱりピッケルも使いこなす必要があるんだろうなと実感。課題ですね…。

夜はらくちん、2食付きの宿泊🍽️

(→しかもごはんはおかわり自由)

7時半頃には、満点の星空🌌

消灯時間までの山小屋トーク🍷🍽️

久々に、山ならではの贅沢な時間を過ごしたのでありました✨✨✨✨

9:30 登山口

10:50-11:45 西穂山荘

12:55-14:00 独標

14:45 西穂山荘(雪上訓練)

【4月11日(日)】

翌朝、ガス&雨。

小屋の中からテント泊の人たちを見ると、撤収する気配を見せない…。(⇒小屋どまりで恐縮です…😓)

ロープウェイの動き出す時間も見計らい、朝は小屋の中でのんびりしてから出発。それでもコースタイム1時間の下山ルートを、雪道なので、あっという間の45分で下山。名残惜しくも、無事に下山できてよかったよかった😌

8:15 西穂山荘

9:00 登山口

今回はいろいろな人たちと穏やかに登れた山行でした♪

また機会を見つけて、ご一緒したいものです



※フォトアルバムは、こちら

http://mixi.jp/view_album.pl?id=47756018&owner_id=6743162&mode=photo